

**「住之江区将来ビジョン（案）」にかかる
パブリック・コメント手続の実施結果について（案）**

	ご 意 見	住之江区の考え方
「はぐくみ・教育 子どもたちの未来のために」について		
1	住之江区の将来ビジョンを考える上で、地域コミュニティの崩壊や混乱を促すような小中学校の学校選択制は、即中止すべきです。特に、大災害時、小中学校単位での避難が想定されるので、本当に止めるべきです。東日本大震災の教訓を活かすべき。生かすも殺すも、市長と区長と教育長のお考えです。区民の生命が変わるかもしれないです。 また、少子化に伴い、第二次ベビーブーム下で構築された区内の小中学校について、統廃合を積極的に実施してください。相対的に教員数が減少し、教員の担い手不足解消にもつながると思います。 【14 ページ】	ご意見ありがとうございます。 大阪市では、大阪の教育力の向上、充実を図り、教育の振興を推進し、子どもたちの最善の利益を図るため、子どもや保護者の意向に応じていく必要があるとの観点から、平成 26 年度入学者から学校選択制を開始し、住之江区では、これまでの住所地による通学区域は残し、通学区域の学校への就学については必ず保障した上で、小・中学校へ新入学される際の 1 回に限り、子どもや保護者の希望を尊重して入学する学校を決める制度として平成 27 年度入学より実施しています。 令和 5 年 3 月には市教育委員会が作成した「学校選択制にかかる検証報告書」においても、全体として支持される制度となっており、住之江区としてもその検証結果を踏まえ、子どもたちの最善の利益を図ることができるよう、引き続き取り組んでまいります。 また、大阪市では、子どもたちにとってよりよい教育環境を提供する観点から、学校に一定の集団規模を確保し、教育活動の充実を図っていくため、学校配置の適正化に取り組んでいます。住之江区におきましても大阪市立学校活性化条例等に基づき、子どもたちの教育環境を第一に考え、学校配置の適正化に向け引き続き取り組んでまいります。
「すこやか・まちづくり すべての人がいきいきと自分らしく暮らせるために」について		
2	住之江区に居住している知的障がい児童や生徒は、区内にある「住之江支援学校」に通学し、様々な行政機関との連携が比較的スムーズです。一方で、住之江区に居住している肢体不自由の児童や生徒は、他区にある「西淀川支援学校」と「東住吉支援学校」に通学しています。行政区としての連携が十二分に活かせるように、住之江区内に肢体不自由の児童や生徒のための特別支援学校を早急に新設してほしいです。 また、「東住吉支援学校」は、知的障がいの課程が併設されていて、他区の児童や生徒が通学していて、かなりイビツな状態だと、市長や区長や教育長はお感じになれませんか。「東住吉支援学校」の知肢併置を止めてほしいです。知的障がいと肢体不自由の専門性をより活かせるよう、障がい児童や生徒のための教育改革も真剣に考えて、実行に移して欲しいです。障がいのある児童や生徒もひとりひとりの人間として考えてもらいたいです。 【16 ページ】	ご意見ありがとうございます。 大阪市では、教育の大綱である「大阪市教育振興基本計画」を策定し、障がいのある児童生徒の自立及び社会参加を見据えて、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援が提供できるよう通常学級、通級による指導、特別支援学級等、多様な学びの場における特別支援教育の充実に努めています。市内特別支援学校に関しましては、設置者である大阪府教育庁へご意見として伝えてまいります。

3	地域ごとの魅力と課題を棚卸し、地域の人口動態等情勢とともに地域に知らせ、地域が何をすべきか（他の地域と比べて良いところや伸ばすべきところ、改善すべきところ）を理解・認識させることから始めたらどうか。 （以前あった「地域カルテ」とはかなり状況が変わっている） 地活協予算もそれに合わせて配分使用するよう指導願いたい。 【17 ページ】	ご意見ありがとうございます。 地域活動の支援については、すべての地域一律に行うのではなく、地域毎の実態や困りごとに対してきめ細かな支援が必要であると考えています。いただいたご意見を踏まえて次のとおり本文に追記しました。 「住之江区の各地域では、日ごろから、夏祭りや子育てサロン、ふれあい喫茶、子どもの見守り、近所の清掃など様々な活動が行われています。これらの活動は、日々の暮らしに、にぎわいと安心をもたらすだけでなく、住之江区全体の活力の源ともなっています。こうした地域活動が将来にわたって自律的に行えるよう、地域の特性などそれぞれの地域の実情にあった必要な支援を行うとともに、多様な主体による連携を促し、より発展する環境づくりを進めていきます。」 また、地活協の活動については地域のニーズを踏まえたものとなるよう引き続き支援を行ってまいります。
4	住之江区内に、大阪府営の「住吉公園」と「住之江公園」がありますが、市民のための「すこやかなまちづくり」を目指して、大阪市営化することを将来ビジョンの中に盛り込んで欲しいです。いつまでも府営では、住之江区の将来的な発展を阻害すると思います。現市長の決断力と実行力に期待します。 【すこやか・まちづくり】	ご意見ありがとうございます。 いただいたご意見につきましては、今後の取組の参考とさせていただきます。
「防災・安全 安全・安心に暮らすために」について		
5	スマホ教室で詐欺メールについての講習を実施したり、ハザードマップサイトのアクセス・閲覧方法を解説したりしてはどうか。 【21 ページ】	ご意見ありがとうございます。 住之江区では、防災防犯意識の向上に向け、町会や自主防災組織など幅広いコミュニティ層に対して、出前講座を実施しています。講座内容として、特殊詐欺の啓発や住之江区の災害想定、防災アプリの使い方なども実施しており、引き続き、受講者のご希望に応じて幅広く対応してまいります。
6	ハザードマップを持ちながら実際の現地確認するウォーキング会を開催したらどうか。 【21 ページ】	ご意見ありがとうございます。 住之江区では、中学校の防災授業の一環として、地域の方が案内人となり、防災マップを見ながらマップに記載の津波避難ビルや防災関連施設を確認する「防災まち歩き」を実施しています。 いただいたご意見につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます。

7	ウォーキングは街頭犯罪抑止や地域の見守りにつながる効果があると思われるので、フレイル予防やメタボ対策と合わせて、住民に広報したらどうか。 例えば、「小学校の登下校時間帯に通学路を組み込んでウォーキングする」「塾からの帰路時間帯にウォーキングする」「街頭犯罪が起きた場所・曜日・時間帯にウォーキングする」等と呼びかけるのはどうか。 【21 ページ】	ご意見ありがとうございます。 ご意見のとおり、ウォーキングはフレイル予防やメタボリックシンドロームの状態を予防する運動の1つとして知られています。住之江区では、安全かつ歴史に触れることができるウォーキングマップを健康づくりの団体の方と作成しております。 また、防犯の取組として、青色防犯パトロールカーにて、小学校の登下校の時間帯や安まちメールで警察から配信された犯罪発生情報等をもとに巡回強化ポイントを設定し、パトロールを実施するなど街頭犯罪抑止に取り組んでいます。 いただいたご意見につきましては、今後の施策の参考とさせていただきます。
8	住之江区には競艇場があり、治安悪化やギャンブル依存症対策について、もっと具体的に記述すべきです。また、府市で積極的に誘致を進めているカジノについて、住之江区としても防犯意識が高まるように、将来ビジョンとしての対策を盛り込んで欲しいです。できれば、カジノの誘致には反対してほしい。 また、ギャンブル依存症対策を区としてもっと積極的に行ってほしいです。さらに、関西万博実施時の治安悪化も不安です。将来的な対策だけでなく、現状でできることの実行をお願いしたい。 【21 ページ】	ご意見ありがとうございます。 ギャンブル依存症対策につきましては、大阪市ではその他の各種依存症と併せて、平成30年5月から大阪府・堺市と共同で小中高学生、新成人を含めた大人に依存症についての予防活動や相談支援をおこなっております。住之江区としても身近な相談先として、相談支援や予防啓発に取り組んでいます。 また、住之江区の治安につきましても警察と連携し、引き続き安全安心なまちづくりに向けて取り組んでまいります。